

平成 30 年度 第 2 回評議員会（報告）

日 時 平成 30 年 10 月 19 日(金) 15:45-17:30（クラブ見学含む）
 場 所 100 周年記念館
 参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	出席
1	小沢 里子	同窓会副会長	同窓会代表	○
2	加藤 敬一	赤穂中学校教頭	地元中学校	○
3	亀山 史子	元全日制 P T A 副会長	保護者代表	○
4	北原 和明	株式会社 北原商事	地元企業代表	○
5	小林 紀充	小町屋区区長	地元住民代表	○
6	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	○
7	宮脇 三広	定時制振興会理事	定時制 O B	○

職員

学校長	松村 明	生徒指導主任	原 登
全日制教頭	三輪 元子	生徒会担当	鈴木 良
定時制教頭	堀内 雅司	3 学年主任	伊坪 一徳
事務長	土村 正和	2 学年主任	田中 誠一
教務主任	北沢 隆	1 学年主任	遠山 和夫
商業科主任	山口 功	教務（記録）	笠原 智穂
進路指導主任	市瀬 裕一		

1. 内容

I 学校評議員会 16:00 ~ 17:00 進行：全日制教頭

1 開会のことば

新生徒会の正副会長による挨拶がある旨。
 裏表紙に非違行為について載せてある旨。

2 学校長あいさつ

台風の影響で休校が度重なった。このような状況は珍しい。
 全日 3 年生、定時 4 年生の就職がほぼ内定。今月から進学者の結果が出てくる。
 高大接続、学びの改革、高校再編など。

3 赤穂高等学校の学校自己評価(中間評価)および現況について

中間評価について

全日制教務主任（p 8） 概ね計画通りである。各系の詳細は控える。

各担当から

進路主任（p 7） 多くの求人をもらい、順調に内定をいただいている。

生徒指導主任（無し） 若干の問題あり。（飲酒 2・テストカンニング 1・いじめ 1）
 いじめはケンカに近いもの。これから 3 年の教習所が始まる。

生徒会主任（動画） 集中豪雨のため文化祭が 4 日から 3 日になったが、生徒が話し合い工夫して仕上げた。よい文化祭だった。

商業科主任（p 9～14） 商業科通信を見ながら説明。（HP からカラーで見れます）
 11/11 のバイパス開通式にも出席する。

（チラシ） ハロウィーンパーティーの宣伝。宮田家族村での出店、各クラブの発表など。

学年主任より

1 学年 概ね落ち着いた生活が出来ている。この学年から 2020 年度の入試が大きく変わるため大変。学校内外での活動が大切。普通科には、探究活動の手入れをしないとならず、入試に向けて様々な対策が必要。

2 学年 中だるみならぬよう喚起。普商それぞれのコース別が始まり勉強に向くよう

に。普通科はJICA、商業科はインターンシップ（就職希望の普通科の参加が増）に参加。ボランティアへの活動も増えている。（9～10月の参加は7割強）。地域との触れ合いの中で充実した生活を送れている。12月には広島への修学旅行がある。

3 学年 順調に多くの生徒が内定をもらっている。3 Aは15名中15名全員が合格。先生方が面接指導をしっかりとってくれるおかげ。各企業からの課題に対応している。進学希望者はAO入試で決まっている者が増。現在は推薦入試の面接に対応している。

定時制（p 15～22・ppt） 友心祭の様子や、生活体験発表大会の様子。
ニュースからの抜粋を含め、映像とともに説明した。

4 生徒会新役員挨拶 生徒会長 唐澤 透弥 副会長 山田 悠馬・征矢 雪葉
生徒会長より

スローガンは未定であるが、楽しむときは楽しみ、やるときはやる、そんなメリハリのある学校を築いていきたい。

参加評議員より

西垣内さん：苦労は将来的に開けていくもの。がんばれ。

宮脇さん：皆さんらしいオリジナルな生徒会を作ってほしい。

北原さん：来週の南信フェスタでも、また協力お願いします。

5 学校評議員の皆様からのご意見、ご助言

・教職員による非違行為の防止について（p 23）

・その他の事項について

宮脇さん：鈴蘭祭来ました。うちわを積極的に売る商業科、行列のできるお化け屋敷、すごかった。広島原爆の発表を扱っているクラスもあり、大切なことだと思った。

小沢さん：定時制生活発表会を見て、定時は昔、生活が苦しい人が行く場所だった。現在は、病んでいる人たちの大切な場所になってきている。考え方が変わりました。

西垣内さん：非違行為に対して組織として動いているのか、個人での取り組みか？

(Ans) 非違行為防止委員会を設置している。

研修はどのくらいの頻度で、全員参加するものか、建て前か？参加の状況は？

(Ans) 今年はまだだが、基本的に年に1度、全職員参加である。

スマホの授業中の使用については、中学から手入れが必要と感じる。大学から見て中学、高校でしっかり指導する必要がある。

2020年～の各学年の探究活動の話だが、本校（看護大）でもまだ入試問題まで考えていないが、いろんな活動をどんどん続けて、多面的な評価を増やしてほしい。

加藤さん：多くの赤穂中学生が赤穂高校に来ている。インターンシップにも来てくれて、挨拶やお礼状など、しっかり先生方が手を入れてくれていると分かる。感謝している。JICAと駒ヶ根駅前の「しらかば」という支援センターがお互いに支援し合っているのでよければ参加を。

非違行為、仕事と家庭からの心身病からくる。周りの職員が病んでいる職員の苦しみを知らずにいて、より病状を助長させることもある。

発達障害について、心理教室を堀内先生が行っているので参加されたい方どうぞ。

小林さん：若い先生は、年配の先生方がしっかりフォローを。

亀山さん：たくさん生徒が「楽しい」と答える学校生活アンケートを見て、息子もそう言っているのだから、ぜひ赤穂高校には長く残ってほしい。学校再編は親にとっても不安です。ぜひ赤穂には存続して欲しい。

北原さん：多くの生徒が高校生のうち外に出て、地域で関わりを持つことはいいことだと思う。

6 連絡等

第3回は2月14日に行うことを計画中

7 教頭先生よりお礼と、クラブ見学へ移動

美術部→書道部→声楽部→器楽部→商業実践部→吹奏楽部 の順